

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、自由に意見を語り合う広場です。

ひつひつ

笑顔がまぶしい
二十歳の皆さん

PN・ミッチー
表紙の写真がすてきです。番傘がまたいいですね。

PN・みー
成人式に参加できる年代だったので、ですが、行かなかったのが成人式の様子や昔の友人の笑顔が見られてうれしくなりました。それぞれ、みんな頑張っているんだなと思うと私も頑張ろうと思えました！振り袖、スーツとても似合っています！

ひつひつ

PN・コハクン
おうらてくてくアプリは、ずっと気になっていたので、これを機に始めてみようと思います！

PN・デブネコ
おうらてくてくアプリをまだ使用していませんが、今年から使用してみたいと思います。今後も有益な情報発信をお願いします。
PN・運動不足
引っ越しが終わりました。これからもたくさん「てくてく」します。

ワクワクする

PN・トシオ叔父さん
広報おうら毎月楽しくワクワクしながら拝見しています。

PN・写真愛好家
毎月広報を楽しんで読んでいます。オススメはフォトパレットです。

写真投稿

吉田哲男さん(寺中・26区)
今年の冬は連日の寒波で冷え込みが厳しく、スイレン鉢の水も分厚くなっています。極寒の中、わが家のピンクパンサーが一輪だけ咲きました。葉の色は寒さで赤くなっていますが春を感じさせてくれます。



情報板

○募集
サントリー町民day
サントリーのビール工場見学を町民を対象に1日限定で実施します。

- ▼期日 3月29日◎
- ▼時間 午後1時～2時20分(バス集合出発午後0時30分)
- ▼会場 サントリー天然水のビール工場(千代田町赤岩2712)
- ※自家用車での現地参加はできません。
- ▼集合場所 役場東側
- ▼内容 工場見学、試飲など
- ▼対象 町内在住の小学生以上の人
- ※20歳未満は保護者同伴。
- ▼定員 参加費 30人(先着順)・無料
- ▼申込方法 電話で申し込む
- ▼申込開始 3月16日(月)午前9時
- ▼問合せ先 役場商工振興課 47-5026

AWESOME2026

- ▼期日 4月19日◎
- ▼時間 午前10時～午後4時
- ▼会場 おうら中央多目的広場
- ▼内容 町や近隣地域の町おこしを目的とした食とハンドメイドの総合フェスティバル
- ▼問合せ先 地域活性プロジェクトMAYK代表(田村) 070-1250-0921

おうらの森主催講座	
講座	第1回緑化講座 第2回緑化講座
日時	4月16日(水) 午前10時～正午 4月23日(水) 午前10時～正午
場所	県生涯学習センター おうらの森
テーマ	初夏に行いたい庭木の整姿剪定の仕方 初夏に行いたい庭木の整姿剪定の仕方
定員	30人(先着順) 30人(先着順)
申込開始	3月30日(月)午前9時～ 4月6日(月)午前9時～
申込問合せ先	おうらの森 88-7188

- 日本語教室ボランティア募集
- ▼期日 毎週火曜日と日曜日
 - ▼時間 【火曜日】午後7時～9時 【日曜日】午前10時～正午
 - ▼会場 中央公民館
 - ▼内容 日本語の習得を望む外国人を対象とした日本語学習支援
 - ▼対象 日本語を教えることに興味のある人
 - ▼申込方法 電話で申し込む
 - ▼申込期間 随時、事前見学も可
 - ▼問合せ先 中央公民館 88-1177
- 多々良マルシェ
- ▼期日 3月15日◎
 - ▼時間 午前9時30分～午後0時30分
 - ▼会場 松沼南駐車場入口広場
 - ▼内容 赤飯やまんじゅうなどの販売 ※なくなり次第終了。
 - ▼問合せ先 多々良公園管理事務所 56-9978



折笠 ナターシャさん
由依ちゃん(1歳9カ月)・沙奈ちゃん(2歳11カ月)
(前原・4区)

沙奈は公園で初めて会う子とも遊べちゃう元気な子。ぶらんこや滑り台で遊ぶのが大好きで、ずっと同じ遊具で遊んでいます。妹の由依はお姉ちゃんの後をついて回っています。そんな妹を沙奈は面倒を見ていて、寝ちゃった由依に布団をかけてあげることも。ママのまねをしているのかな(笑)。二人には誰からも愛されて、自分たちで選んだ好きな将来を歩む、優しい大人に成長してほしいです。

ORA TOWN Quiz 広報おうらクイズ

はがき、または電子申請から応募してください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円のコハクペイをプレゼント。

- 【今月の問題】
- 第1問 読書特集の中で出てくるしおりの数は○枚
A.3 B.10 C.20
(ヒント 2～5ページ)
- 第2問 受診前に○○シールと各種検診ガイドを確認
A.受診 B.検診 C.健診
(ヒント 6～13ページ)

【アンケート】

Q1 広報おうらで取り上げてほしい企画や内容を教えてください
Q2 広報おうらに関する意見や感想を教えてください

応募方法 はがきに、答え(例:第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・ひとことまたはアンケートの回答を書いて郵送する

宛先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 3月18日(日)※当日消印有効 ※当選者は広報おうら次号で発表。

【2月号の当選者】(応募数36通、全問正解36通)

松島朱希(4区) 吉原慶(6区) 横山絢音(6区) 大野茂人(10区) 高橋茂光(13区) 岡部あさ子(16区) 倉上彩夏(22区) 久保田雅美(24区) 森谷憲一(27区) 鈴木愛(町外) ※敬称略

俳句 文芸

翡翠を静かに見守る孫兵衛治い 長 政夫
長つらら湯煙り競う露天の湯 上州 仙人
彼岸会や風の形振り風見鶏 砂川 登一
アイゼンの音聴きたくて八ヶ岳 岩上 亘
梅の香にふっと寒さも和らぎて 西野きみ子
桜咲く便り待ちつつスマホ持つ 石橋弥代江
春兆す森の小径のふかふかと 斎藤真紀子

ひのえうま母子で駆け抜く春の野辺 大塚 初代
見つけたよ吾に振り向く野のすみれ 中繁貴実子
モノクロの庭に蠟梅香り立ち 宮尾 静子
夫は無事帰宅の音や冬日暮 金子 典子
はしはしと軍港めぐり冬日和 中谷 和子
節分や声暗闇へ吸い込まれ つかこし
天高く晴れ渡る空風もない 飯塚美知雄

短歌

我里はカラカラ天気雨欲しや風は吹けども雨雲来ない 持田 静江
恋猫等の恋の様々聴きながら飼犬は自由を考えている 壽命 秀次
春近し北へ旅立つ白鳥の声賑やかに多々良沼かな 坂本 幸子
ひのえうま初日の出見る馬力前福八十年五穀豊穣 金子 文一
春の月南によりて月光は窓から屋内夢幻に写す 大塚 博司
孫二人今夜は我が家に泊まるとう はなしは尽きぬゆく年くる年 小林なみ子
老いてなおすらすら解ける微積分 それもそのはず夢と知れば 春日 瑞章

投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)

ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎ 47-5007 ☎ 89-0136 ✉ koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

広告面	広告面

今でも料理は苦手な私。仕事の担当が代わり、農村女性の育成指導が業務の一つになり、農家生活研究グループの支援指導を行うことになりました。郷土料理の伝承普及に力を入れている組織で、知識も技術も持っているすてきな女性ばかりで『自分が指導なんてできない』と泣きたくなりました。とにかく郷土料理を勉強しよう』と本を読み、試作し、調べるうちに、同じ料理が地域ごとで、特色が異なることが分かりました。

みそ両方一緒に利用、北毛と西毛はみそベースが多いです。これは、東毛に大きめのしょうゆの製造所が複数あり、流通が盛んだったためでした。さらに西邑楽地域では白菜も入りますが、他地域では利用されていません。また、北毛では里芋ではなくジャガイモが利用されています。これは北毛でジャガイモの種芋生産を行っていることや冬の気温が低く里芋がしみてしまうため、置き換わっていることが分かりました。このように同じ県内の郷土料理にもかかわらず、地域に根づく生産物、環境の違いで変化してい

る多様性に好奇心が湧き、試してみよううちに料理が少しずつ楽しくなりました。郷土料理を知らない、作ったこと、食べたことがない人も増えていると感じます。昔から続くふるさとの味が途絶えてしまうのは、もったいないと思います、役場と町内農村女性の皆さんに地産地消料理の動画化をお願いしたところ、町公式動画に掲載されるようになりうれしかったです。料理は苦手ですが作り方は分かるので、今後も公民館主催の郷土料理講習の講師を務め、さまざまな郷土の味を伝承していきます。



料理教室で参加者に丁寧な説明をする戸井田さん

次の世代に伝えたい大切なふるさとの味



戸井田 薫さん
 (水立大黒・23区)

といた・かおる ● 県職員で農業技師。現在は農業の担い手育成支援を担当。公民館主催の郷土料理講習の講師を務める。趣味は読書と子どもたちと舞台ライブ鑑賞。好きな料理は豚汁。「郷土料理を調べると地域の特色や風土が分かって、食をもっと楽しむことができます」と話す。

・若・者・紹・介・



福原 莉央さん 20歳
 Fukuhara Rio (明野・34区)

■現在は何をしていますか？
 埼玉県にある保育の短期大学に通う2年生。卒業することで保育士としての素質があると判断してもらえるので日々、勉強しています。

■どうして保育士になりたいの？
 母が保育士をしていたこともあって、保育士という存在はいつも身近にありました。そんな母への憧れ。それから、子どもの頃に保育園で担任してくれた先生が大好きでした。二人のような保育士になりたいと思って目指しています。

■今、がんばっていることは？
 アルバイトと学校での実習です。アルバイトは接客業をしていて、主にコミュニケーション力を養っています。保護者とのやりとりで役立つかも！実習では保育園に行き保育士としての体験をしたり、文化祭では子ども向けの出し物を用意したりして、多くの子どもと交流しています。将来は子ども一人一人と向き合い、寄り添える保育士になれるよう頑張ります！

